

提出日を記入してください。

町村民税
府県民税

寄附金税額控除に係る申告特例申請書

年 〇〇 月 〇〇 日 神河町長 殿		整理番号		
住 所	〒〇〇〇-△△△△	フリガナ	カミカワ タロウ	
	兵庫県〇〇市〇〇3丁目1番地の1 〇〇ハイツ〇〇号室	氏 名	神 河 太 郎	
電話番号	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	個人番号	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
		生年月日	昭・大 昭・平 20 ・ 11 ・ 7	

第五十五号の五(附具等)の四関

太枠内の項目を全て記入してください。

個人番号(マイナンバー)を記入してください。

あなたが支出した地方団体に対する寄附金について、地方税法附則第7条第1項(第8項)の規定による寄附金税額控除に係る申告の特例(以下「申告の特例」という。)の適用を受けようとするときは、下の欄に必要な事項を記載してください。

※確定申告をされる方につきましては、ワンストップ特例申請書を送付する必要はありません。

(注2) 申告の特例の適用を受けるために申請を行った者が、地方税法附則第7条第6項(第13項)各号に掲げる場合には、申告特例対象年(以下「対象年」という。)に支出した寄附金(以下「対象寄附金」という。)の額を記載してください。

寄附をした年月日と金額を記入してください。

※同じ自治体に複数回寄附をした場合、その都度申請書を提出する必要があります。

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
〇〇年 〇〇月 〇〇日	10,000 円

2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、
する場合、それぞれ下の欄の口をチェックを

確定申告が不要な給与所得者の方が、ふるさと納税による寄附をした場合のみチェックをしてください。

① 地方税法附則第7条第1項(第8項)に規定する申告特例対象寄附者である



(注) 地方税法附則第7条第1項(第8項)に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に該当すると見込

①と②どちらも該当する場合のみワンストップ特例の申請が可能です。

その年のふるさと納税による寄附先が「5自治体」以下であると見込まれる場合のみチェックをしてください。(寄附回数ではなく、寄附先の自治体数)

② 地方税法附則第7条第2項(第9項)に規定する要件に該当する者である



(注) 地方税法附則第7条第2項(第9項)に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数が5以下であると見込まれる者である。

住所と氏名を記入してください。

後日、申告特例申請書受付書の送付に利用されます。

に係る申告特例申請書受付書

住 所	兵庫県〇〇市〇〇3丁目1番地の1 〇〇ハイツ〇〇号室	受付日付印
氏 名	神 河 太 郎 殿	

受付団体名

神河町